

Let's Know Hiroshima Castle.



しろや! スクープ!! 広島城

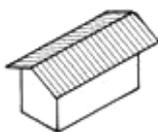
No.48

広島城にも「へ」以外のあれがあった

まず覚えましょう、きりづまづくり よせむねづくり いりもやづくり切妻造と寄棟造と入母屋造。

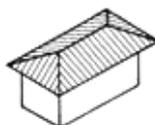
日本建築にはいくつかの形式がありますが、代表的なものがこの3種類です。

切妻造といいます。
いたってシンプル。



+

寄棟造といいます。
四方に屋根が伸びています。



||

入母屋造といいます。
切妻造と寄棟造が合体。



なかでも、入母屋造がもっとも格式の高いつくりとして重んじられていました。

これをふまえて…

屋根が交わる三角形のつくりをはふ破風といいます。天守に並ぶ「へ」の字です。「へ」にもいろいろあるので、代表的なものを紹介します。日本に天守というものが誕生すると同時に、建物を豪華に見せるにはとても効果的だったこともあり、それまでは神社や寺につきものだった破風が欠かせないものになりました。「へ」だらけの天守がたくさん建てられました。お城の天守は「高級建築」だったので、最上階は必ず入母屋造にされました。必然的にどんな天守でも、てっぺんの屋根にはもれなく、大きな「へ」いりもや入母屋破風(2)があります。

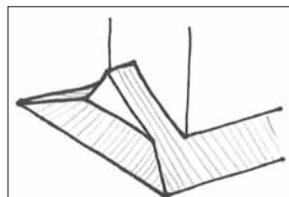
それ以外にもいろいろな破風が飾り屋根としてつけられました。



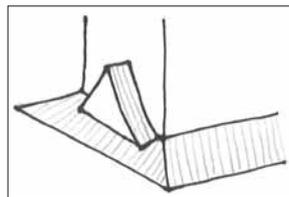
1 「へ」だらけの姫路城天守

ちどりはふ千鳥破風(3)は、入母屋破風と似ていますが、

よくみると屋根の上にちょこんと乗っています。入母屋破風と千鳥破風の見分け方は右のイラストをヒントにしてください。割と簡単に造れるので、ひよくちどりはふ比翼千鳥破風といって大きな屋根に2つ乗っているのがあります。でも、ひよくいりもやはふ比翼入母屋破風というのがあります。このふたつはパッと同じように見えるので、見分けることができたあなたは比翼マスターです。ちなみに写真1にある？は



2 入母屋破風



3 千鳥破風



4 弘前城の切妻破風

比翼千鳥破風でしょうか。それとも比翼入母屋破風でしょうか。(答えは最終頁)

もう1つ、きりづまはふ切妻破風(4)は切妻造の輪切りが付いているイメージです。出窓タイプが多く見られます。

さらに、三角ではなく、麦わら帽子のように丸くカーブを描いた形のものがあり、これを唐破風からはふ(次頁7・8)といいます。破風の中でももっとも装飾性が高く、これが付くと俄然華やかになります。このようにお城は、いろいろな破風を組み合わせ、屋根を飾り立てたのです。想像してください。破風の無いお城は〇〇を入れないコーヒーみたいで、なんて寂しい姿でしょう。

ものすごく前置きが長くなりましたが、ここからが本題です。この唐破風、これまでは広島城天守には使われていなかったというのが定説でした。毛利輝元は、大坂城や聚楽第じゅらくていを参考にして広島城を建てたといわれているのに、なぜ唐破風がなかったのか。輝元は「俺の城は男の城だ。ちゃらちゃらしなっ。」というこだわりがあったのか。さすが輝元と思っていました。

ところが最近になって、案外ちゃらちゃらしていたかもしれないことが分かったのです。

5の写真は、以前から広島城が保管しているもので、明治初期の天守を北東から写したものです。鶏卵紙という特殊な印画紙で、ぼやけていますが天守の手前に東小天守が見えます。これはこれで、早くに解体された小天守の姿をとどめた貴

重な資料として評価されてきました。



5 北東から見た広島城天守 広島城蔵

6の写真は、2001年に出版された『大日本名所一覽 イタリア公使秘蔵の明治写真帖』という本に掲載されたものです。実は5の写真は原版が同一の物なのです。全く同じ写真なのですが焼き付けの違いによって、6の写真はここまで鮮明に見えるのです。高価な本なので、広島城が手に入れることができたのは数年前のことです。東小天守になにやら唐破風らしきものが見えるではありませんか。周りの杉の木が邪魔だなあ、と文句を言いながらルーペで確認すると、どう見ても唐破風です。専門の先生にも「本当だ。これは唐破風だ。」と、お墨付きをいただきました。



6 北東から見た広島城天守 株式会社平凡社蔵・提供

そして、今年春の企画展「あのころの広島城」において、この写真の拡大パネルを作成したところ、ますますくっきりはっきり唐破風の姿が明らかになったのです。本体の屋根の一部がクニャッとカーブする軒唐破風のきからはふ(7)と呼ばれる形式です。広島城東小天守の唐破風はこのタイプでした。



7 姫路城の軒唐破風

広島城七不思議 その2

不思議といえば、前回(25号)の「ふなむし」から久しぶりすぎる広島城七不思議。満を持してその2です。

城内のあるところに梨の木が1本あります。毎年春には白い花を咲かせ、小さな実がつくのですが、いつのまにか消えていることになんとなく疑問は感じていました。2年前の7月、小さな実がそれは鈴なりに、枝が垂れ下がるほど実りました。ところがある日、昨日まであった梨の実が忽然ときれいさっぱり姿を消したのです。1つ残らずです。木の下にすら見当たりません。まるで狐につままれたようでした。まだ十分熟れていないのに、いったい誰が採って(取って)いったのだろうと、不思議さと共に正体の分からぬ相手に腹をたてながら1年過ごしました。

翌年こそは熟した実を確認せねば気がすまなくなりました。目を光らせる日々が続いた7月のある朝のこと、登城すると梨の木のアたりがやけに騒がしいのです。何十羽ものカラスが木に群がり、梨の実をかじり、落とし、木の下では落ちた実をついばみ、もう上へ下への大騒ぎではありませんか。カラスの大梨狩り大会が開催されていたのです。狐ではなくカラスにやられていたのです。

やや小ぶりではありますが、われらが広島城にも「へ」以外の飾り屋根があったということはちょっとしたスcoopでしょ。ちなみに、独立したものを向唐破風むかいはらふ(8)と呼びます。



8 熊本城の向唐破風

神社や寺の建物にもつきものの唐破風は、破風の中でも格調が高いものとされていました。それなのに大天守にはなくて、小天守の、おまけに目立たない部分に使われているのはなんだか不思議ではあります。(岡野 孝子)

～ナシが消えたなっしー～

た。あわてて駆け寄り、かろうじて落ちている梨をカラスから横取りしたのがこれです。



仕事があるので「くそお」と思いながら仕方なくその場を離れました。夕方行ってみると、木にはもう1つも残っていません。数羽のカラスが残骸を食べていました。全ての謎が解けた日です。翌日の朝には、前年同様残骸すら見当たりませんでした。しかし、カラス界における梨狩りの日程調整と連絡網の仕組みは今も謎です。今年も広島城の梨の実が大きく熟れることなく、カラスのお腹におさまってしまうのでしょうか。(岡野 孝子)



ごちそうさま

資料紹介 鐙(あぶみ)

広島城は膨大な数の資料を収蔵していますが、なかなか公開するチャンスがないまま眠っているものも少なくありません。その中で馬具のひとつである鐙を紹介しましょう。



舌長鐙 広島城蔵

そもそも、鐙とは、革ひもで鞍から吊るし、馬に乗るとき、そして乗っている時に足を乗せるものです。

日本に乗馬が伝わったのは古墳時代と言われていますが、その頃は輪鐙でした。埴輪馬にぶら下がっているつり革みたいなあれです。



奈良時代になると輪鐙に前カバーがついた形の壺鐙と呼ばれるものが生まれ、平安時代に足を乗せる



壺鐙

板が伸びた舌長鐙となりました。そしてこの形式が江戸時代まで続きました。日本独特の形で、まるでスリッパのようです。

西部劇のガンマンは輪鐙に足を乗せ、どかっと鞍に座りますが、日本古来の乗馬は、鐙の上に立ちお尻をつき出して乗る方法で、これを「立ち透かし」といいます。舌長鐙は、足を踏ん張るのに都合のよいつくりになっているのです。空気イス状態で膝をうまく使って体を安定させるのは大変です。でも、これをマスターしなければ一人前の武将とはいえませんでした。今も流鏝馬などにこの立ち透かしは受け継がれています。



結城合戦絵巻 国立国会図書館蔵・提供

甲冑武者が立ち透かしで馬を操り、キリキリと弓を引く姿を想像すると、胸がキュンキュンします。

この舌長鐙、見た目はおしゃれですが、鉄の塊なのでけっこう重いです。写真の資料は一对でおよそ5kgあります。たとえば鎌倉時代の体重60kgの大鎧武者が馬に乗ったとします。当時の馬はさほど大きくありませんでした。鎧兜に太刀、弓矢を足して40kg、鞍や鐙の馬具が15kg。これでおなかを蹴られ、鞭でたたかれ、「走れ！」と言われても、まさに人馬一体、お互いの信頼関係が成立してこそこの「立ち透かし」だったのではないのでしょうか。いずれにしても馬具に象嵌や螺鈿を施し、どんなにステキに仕上げられていても、馬にとってはどうでもいいことでした。

(岡野 孝子)



博多山笠飾り山の馬上武者も舌長鐙を付けています。

1頁の空き 比量入付 資料 資料



編集・発行

公益財団法人広島市文化財団
広島城

〒730-0011
広島市中区基町 21-1
電話：082-221-7512
FAX：082-221-7519

平成28年7月21日発行

広島城利用案内

開館時間：9：00～18：00

(12月～2月は9：00～17：00)

入館の受付は閉館の30分前まで

観覧料：大人370円(280円) 中学生以下無料

高校生相当・シニア(65歳以上)180円(100円)

()内は30名以上の団体料金

休館日：12月29日～31日(臨時休館あり)

ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>

「しろうや! 広島城」のバックナンバーは、広島城のホームページ (<http://www.rijo-castle.jp>) からダウンロードできます